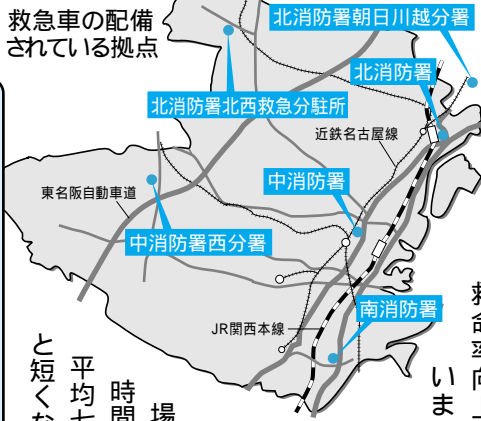


特集 救急車の 出動状況

一一九番通報を受けて出動する救急車は、市民の命を守る頼もしい存在です。救急車の出動件数は、近年、増加傾向にあり、特に平成十二年は、前年比一一・九%増と大幅な増加になりました。しかし、救急車を呼ばなくても済むようなものが多いのも最近の傾向です。本当に必要な時に救急車が一刻も早く駆け付けられるよう、救急車は正しく使いたしましょう。

6拠点に8台の救急車を配備

四日市市消防本部では、市内と朝日・川越・楠の三重郡三町内からの救急車出動要請に、6拠点に配備している8台の救急車に対応しています。中でも、より高度な救急資器材を備え、救急救命士が乗務する高規格救急車(三台)は、救命率向上に大きく寄与しています。また、平成十二年には保々地区に北西救急分駐所を開設するなど、一層救急体制の充実に努め、救急要請があつてから現場に到着するまでの時間も、平成十一年の平均七分から同六・八分と短くなりました。



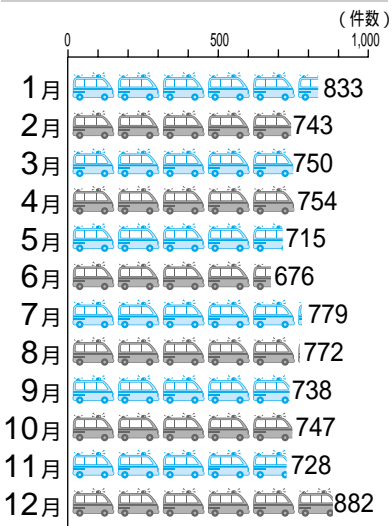
年間出動数が9,000件を突破

救急件数は年々増加しています。平成十一年までの過去五年間の伸び率は年四・八%でした。



が、平成十二年は十一年に比べて一一・九%増と急増。前年より九百七十二件多い九百七十七件となり、平均すると一日に約二十五件、一時間に一回以上出動していることとなります。増加の原因としては、平成十二年の初めにインフルエンザが流行したことや、携帯電話で手軽に出動を要請できるようになったことなどが考えられます。出動件数を月別で見ると、平成十一年では七百件を超えた月は四回だけだったのに対し、平成十二年には、十二月が八百八十二件と過去最高を記録し、六月を除きすべての月で七百件を超えました(グラフ)。平成十二年の一日の救急件数の最高は、十二月十三日の四十五件、平成

グラフ1 月別救急件数(平成12年)



出動が急増中!! 避けたい安易な利用



「119番」通報を受ける情報指令室(消防本部)

急病やけがをしたとき

救急車を呼ぶほどでないとき

救急医療情報センター ☎53-1199
症状を伺い、医療機関を紹介します。

夜間や休日のとき

応急診療所(西新地14-20) ☎53-1759

診療科目と受付時間

内科・小児科

日曜・祝・休日 / 午前9時30分～午後4時

毎日 / 午後7時30分～10時30分

耳鼻咽喉科

日曜日 / 午前9時30分～午後4時



まさかこんな時に救急車?

避けたい、こんな出動例

緊急とは思われない救急車の出動要請の実例を紹介します。こんな119番はやめましょう。

実例

急病との要請で現場に行くと、手を振っている人があり、誘導してくれるものと思いきや、家を探ねると、「わしが呼んだんや。診察日なんで病院まで連れていってくれんか。」

病院へ到着すると、「ごくろうさん」と自分で歩いていきました。

救急車はタクシーではありません!

実例

「子どもが腹痛」とお母さんからの救急要請。病院に収容すると、「あの患者さん、さっきまで外来の待合室にいたけど、“待ちきれない!”と怒って帰って行った親子ですよ」と病院の守衛さんがポツリ。

救急車なら待たずにすぐ診てもらえるから?

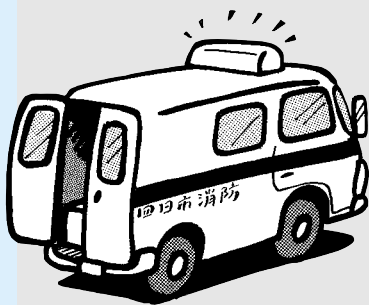
そのほかの実例

病院の予約時間に間に合いたい

「急病」と要請。本人は家の前で入院に必要なものを持って待っていた

昼間は外来が混んでいるという理由で、夕方から夜間にかけて救急外来で毎回受診する

赤ん坊が泣きやまない 手にとげが刺さった
さみしいので 夫婦げんかの仲裁



救急出動の種類別では、急病が五五・一%と最も多く、次いで交通事故が一九・二%(五年ぶりに増加)、一般負傷が一・二%となっています(グラフ)。

また、救急車で医療機関へ搬送された人のうち、六一・二%の人が入院を必要としない軽症でした。救急車は、一一九番通報があった場所

**急病、交通事故による出動が大半
約60%が入院不要な軽症搬送者**

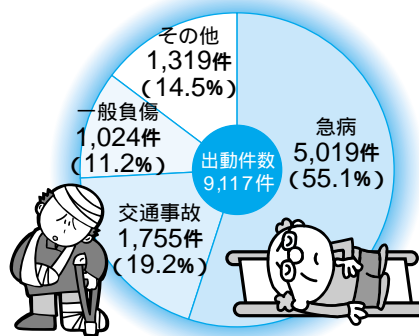


高度な救急資器材を備えた高規格救急車内

十一年の最高は三十八件(で、三十件以上が六十七日(平成十一年は二十八日)もありました。また、最も少なかった日は四月二十日の十件でした。

に最も近い拠点から出動しますが、そこに配備された救急車がすべて出動中であれば遠方の拠点から出動しなければなりません。このため、生命にかかわるような緊急要請があっても、救急車の到着が遅れてしまうこととなります。より緊急性がある時の迅速な救急活動のためにも、安易に救急車を利用せず、一一九番通報をする前に冷静に判断し、症状に合わせて「救急医療情報案内」や「応急診療所」を利用しましょう(左上の囲み欄を参照)。

グラフ2 年間救急車出動件数の内訳(平成12年)



無料

大切な人のために応急手当を身につけましょう
いざという時、役立つ救命技術をあなたも

普通救命講習会参加者募集

人工呼吸、心臓マッサージ、止血法など、だれでもできる応急手当の講習会を開催しています。ぜひ、ご参加ください。また、地域の団体などの要請により、出張講習も行っています。

日時と場所

毎月第2土曜日 午前9時～正午

《防災教育センター(北消防署併設)》

4月14日・7月14日・10月13日・平成14年1月12日

《中消防署》

5月12日・8月11日・11月10日・平成14年2月9日

《南消防署》

6月9日・9月8日・12月8日・平成14年3月9日

申し込み

電話で消防救急課地域安全係
(☎56-2005)へ

